

9.1.18 公共交通へのアクセシビリティ

(1) 現況調査

1) 調査事項及びその選択理由

調査事項及びその選択理由は、表9.1.18-1に示すとおりである。

表 9.1.18-1 調査事項及びその選択理由

調査事項	選択理由
①公共交通機関の状況 ②東京2020大会に向けた取組 ③規制等の状況	東京2020大会の開催に伴い、公共交通へのアクセシビリティの変化が考えられることから、左記の事項に係る調査が必要である。

2) 調査地域

調査地域は、全競技会場の範囲とした。

3) 調査方法

調査は、既存資料調査によった。

東京2020大会の競技開催日の競技会場周辺の鉄道駅は、多数の観客の利用が考えられる。

そのため、本評価書案では、大会開催中の「ア. 公共交通機関の状況」、「イ. 東京2020大会に向けた取組」及び「ウ. 規制等の状況」を調査した。

ア. 公共交通機関の状況

調査は、以下の資料から競技会場周辺の公共交通機関の状況を整理した。

- ・「第5回輸送連絡調整会議【資料4-2-3】東京都内の競技会場における観客ルート(素案)」(組織委員会ホームページ)
- ・「第7回輸送連絡調整会議【資料2-3】競技会場のグロスキャパシティ」(組織委員会ホームページ)
- ・「国土数値情報 駅別乗降客数データ」(国土交通省国土政策局国土情報課)
- ・「第3回北海道輸送連絡調整会議資料」(組織委員会ホームページ)
- ・「第3回宮城県輸送連絡調整会議資料」(組織委員会ホームページ)
- ・「第3回福島県輸送連絡調整会議資料」(組織委員会ホームページ)
- ・「第3回茨城県輸送連絡調整会議資料」(組織委員会ホームページ)
- ・「第3回神奈川県輸送連絡調整会議資料」(組織委員会ホームページ)
- ・「第3回静岡県輸送連絡調整会議資料」(組織委員会ホームページ)
- ・「第6回輸送連絡調整会議【資料3-2】観客輸送ルートの検討状況(埼玉県、千葉県、横浜市の各会場)」(組織委員会ホームページ)

イ. 東京2020大会に向けた取組

調査は、以下の資料から東京都等による大会開催中の交通に対する取組の状況について整理した。

- ・「重点取組地区」(東京都オリンピック・パラリンピック準備局ホームページ)
- ・「大会輸送影響度マップ」(東京都オリンピック・パラリンピック準備局ホームページ)
- ・「第8回輸送連絡調整会議【資料4-1】東京2020大会の交通マネジメントに関する提言のまとめ(案)」(令和元年6月 東京都・組織委員会)

- ・「都庁2020アクションプラン」(平成31年4月 東京都)

ウ. 規制等の状況

調査は、以下の資料から大会開催中の競技会場周辺の規制の状況を整理した。

- ・「第7回輸送連絡調整会議【資料4】会場周辺における交通対策(案)」(組織委員会ホームページ)

4) 調査結果

ア. 公共交通機関の状況

東京2020大会の競技会場における観客利用想定駅及び競技日程は、表9.1.18-2(1)及び(2)に示すとおりである。東京都では、大会開催中に何も交通対策を行わなかった場合に、鉄道に生じる影響についてまとめ、大会開催中の鉄道利用を考える際の参考となる「大会輸送影響度マップ」¹を公表している。鉄道駅における大会輸送影響度は、「大会輸送影響度マップ 鉄道(路線・駅)Ver2.0」に示すとおりであり、これらの競技開催日の競技会場周辺の鉄道駅は、多数の観客の利用が考えられる。

表 9.1.18-2(1) 各競技会場における観客利用想定駅及び競技日程

競技会場 (グロスキャパシティ)	観客利用想定駅		乗降客数 (人/日)	競技日程	
				オリンピック	パラリンピック
オリンピックスタジアム (新国立競技場) (68,000 人) 東京体育館 (7,000 人)	JR	信濃町駅	51,192	7/24~8/9	8/25~9/6
		千駄ヶ谷駅	35,988		
	都営地下鉄	国立競技場駅	9,285		
		青山一丁目駅	76,116		
	東京メトロ	外苑前駅	78,309		
青山一丁目駅		115,907			
北参道駅		23,051			
国立代々木競技場 (10,200 人)	JR	原宿駅	147,466	7/25~8/9	8/26~8/30 9/2~9/6
	東京メトロ	明治神宮前(原宿)駅	103,552		
日本武道館 (11,000 人)	都営地下鉄	九段下駅	106,043	7/25~8/1 8/6~8/8	8/28~8/30
		東京メトロ	九段下駅		
	竹橋駅	49,452			
東京国際フォーラム (5,000 人)	JR	有楽町駅	334,848	7/25~7/29	8/27~8/31
	東京メトロ	有楽町駅	172,303	8/1~8/5	
国技館 (※)	JR	両国駅	77,802	7/25~8/2	—
	都営地下鉄	両国駅	32,739	8/4~8/9	
馬事公苑 (9,300 人)	小田急	経堂駅	76,363	7/25~7/26	8/27~8/31
		千歳船橋駅	57,112	7/28~7/29	
	東急	桜新町駅	70,588	7/31~8/1	
		用賀駅	63,204	8/3~8/5 8/7~8/8	
東京スタジアム (48,000 人) 武蔵野の森総合スポーツプラザ (7,200 人)	京王	西調布駅	17,009	7/22~7/23	8/26~8/30
		飛田給駅	24,364	7/25~8/3 8/6~8/8	
有明アリーナ (15,000 人)	東京メトロ	豊洲駅	208,012	7/25~8/9	8/27~9/6
	東京臨海新交通	豊洲駅	24,003		
		新豊洲駅	4,522		
東京臨海高速鉄道	東雲駅	13,100			
有明体操競技場 (12,000 人) 有明アーバンスポーツパーク (7,000 人) 有明テニスの森 (19,900 人)	東京臨海新交通	有明テニスの森駅	3,237	7/25~8/9	8/28~9/5
	東京臨海高速鉄道	国際展示場駅	68,500		
お台場海浜公園 (5,500 人) 潮風公園 (12,000 人) 青海アーバンスポーツパーク (8,400 人)	東京臨海新交通	お台場海浜公園駅	17,488	7/25~8/8	8/29~9/1 9/3 9/5
		台場駅	24,252		
		東京国際クルーズターミナル駅	3,682		
	東京臨海高速鉄道	東京テレポート駅	63,600		
大井ホッケー競技場 (15,000 人)	東京モノレール	大井競馬場前駅	10,034	7/25~8/7	—
カヌー・スラロームセンター (7,500 人)	JR	葛西臨海公園駅	26,650	7/26~7/31	—
夢の島公園アーチェリー場 (5,600 人) 東京アクアティクスセンター (15,000 人) 東京辰巳国際水泳場 (4,700 人)	JR	潮見駅	26,190	7/24~8/9	8/26~9/5
		新木場駅	148,300		
	東京メトロ	辰巳駅	29,975		
		新木場駅	107,955		
東京臨海高速鉄道	新木場駅	63,700			

※ 2018年11月30日IOC理事会において、グロスキャパシティの検討を含む、ボクシング協議の計画は凍結されているため、公表を行わない。
出典：「第5回輸送連絡調整会議【資料4-2-3】東京都内の競技会場における観客ルート(素案)」(2019年8月1日参照 組織委員会ホームページ) <https://www.2020games.metro.tokyo.jp/2e511c5f4ef4117e3a9feb6828b10aa0.pdf>、「国土数値情報 駅別乗降客数データ」(国土交通省国土政策局国土情報課)、「第7回輸送連絡調整会議【資料2-3】競技会場のグロスキャパシティ」(2019年8月1日参照 組織委員会ホームページ)をもとに作成

1 大会輸送影響度マップ：<https://2020tdm.tokyo/map/>

鉄道については、2020年の大会時の一般利用者及び観客・大会スタッフの鉄道利用状況に関する需要推計・分析を行い、路線については混雑度合いを、駅については混雑や観客による影響をとりまとめている。

表 9.1.18-2(2) 各競技会場における観客利用想定駅及び競技日程

競技会場（グロスキャパシティ）	観客利用想定駅		乗降客数 （人/日）	競技日程	
				オリンピック	パラリンピック
札幌ドーム（41,000人）	JR	白石駅	8,182	7/22～7/23 7/25～7/26 7/29	—
		新札幌駅	14,599		
	市営地下鉄	南郷18丁目駅	10,956		
		新さっぽろ駅	21,010		
		平岸駅	8,460		
	真駒内駅	13,694			
宮城スタジアム（49,000人）	JR	仙台駅	169,928	7/22 7/25 7/28～7/29 7/31～8/1	—
		利府駅	5,600		
		多賀城駅	13,416		
	市営地下鉄	仙台駅	122,174		
		泉中央駅	52,058		
	荒井駅	4,622			
福島あづま球場（14,300人）	JR	福島駅	33,216	7/22～7/23 7/29	—
	阿武隈急行	福島駅	4,191		
	福島交通	福島駅	4,781		
茨城カシマスタジアム （40,000人）	JR	鹿島神宮駅	2,038	7/23 7/26 7/28 7/31～8/1 8/3～8/4 8/6	—
	JR・鹿島臨海鉄道	鹿島サッカースタジアム駅	894		
さいたまスーパーアリーナ （21,000人）	JR	さいたま新都心駅	96,742	7/26～8/9	—
		北与野駅	18,176		
霞ヶ関カンツリー倶楽部 （25,000人）	JR	笠幡駅	6,020	7/30～8/2 8/5～8/8	—
埼玉スタジアム2002 （64,000人）	埼玉高速鉄道	浦和美園駅	16,600	7/25～7/26	—
				7/28～7/29	
				7/31～8/1 8/4	
				8/7	
陸上自衛隊朝霞訓練場（6,800人）	東武鉄道	朝霞駅	67,221	7/25～8/3	8/31～9/6
	東武鉄道・東京メトロ	和光市駅	172,336		
幕張メッセA・B・Cホール （22,500人）	JR	海浜幕張駅	126,450	7/25～8/8	8/26～9/6
釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ （6,000人）	JR	上総一ノ宮駅	5,958	7/26～8/2	—
横浜スタジアム（35,000人）	JR	関内駅	109,950	7/25～7/28	—
	市営地下鉄	関内駅	44,928	7/30～8/6	
	横浜高速鉄道	日本大通り駅	25,632	8/8	
横浜国際総合競技場 （72,000人）	JR	新横浜駅	122,710	7/23 7/26	—
		小机駅	20,672		
	市営地下鉄	新横浜駅	70,549	7/28～7/29 7/31～8/1 8/3 8/8	
江の島ヨットハーバー（3,600人）	小田急	片瀬江ノ島駅	21,440	7/26～8/5	—
	江ノ島電鉄	江ノ島駅	7,579		
	湘南モノレール	湘南江の島駅	4,576		
富士スピードウェイ（22,000人）	JR・小田急	御殿場駅	—	7/25～7/26 7/29	9/1～9/4
伊豆ベロドローム（3,600人） 伊豆マウンテンバイクコース （11,500人）	JR・伊豆急行	伊東駅	15,352	7/27～7/28 8/3～8/9	8/26～8/29
	伊豆箱根鉄道	修善寺駅	3,124		

出典：「第3回北海道輸送連絡調整会議資料」（組織委員会ホームページ）、「第3回宮城県輸送連絡調整会議資料」（組織委員会ホームページ）、「第3回福島県輸送連絡調整会議資料」（組織委員会ホームページ）、「第3回茨城県輸送連絡調整会議資料」（組織委員会ホームページ）、「第3回神奈川県輸送連絡調整会議資料」（組織委員会ホームページ）、「第3回静岡県輸送連絡調整会議資料」（組織委員会ホームページ）、「第6回輸送連絡調整会議【資料3-2】観客輸送ルートの検討状況（埼玉県、千葉県、横浜市での各会場）」（2019年8月1日参照 組織委員会ホームページ）<https://tokyo2020.org/jp/games/transportation/situation/>、「国土数値情報 駅別乗降客数データ」（国土交通省国土政策局国土情報課）、「第7回輸送連絡調整会議【資料2-3】競技会場のグロスキャパシティ」（2019年8月1日参照 組織委員会ホームページ）をもとに作成

(2) 予測

1) 予測事項

予測事項は、公共交通機関までのアクセス性の状況とした。

なお、公共交通機関から競技会場までのラストマイルにおける移動の安全のためのバリアフリー化の程度については、「9.1.14 安全」で対象とし、ここでは、競技会場の周辺から公共交通機関までのアクセス性の程度を対象とした。

2) 予測の対象時点

予測の対象時点は、東京 2020 大会の開催中とした。

3) 予測地域

予測地域は、全競技会場のラストマイルとした。

4) 予測手法

予測手法は、東京 2020 大会の運営計画等から推定する方法によった。

5) 予測結果

大会開催中は、競技会場の周辺には進入禁止エリア（セキュリティペリメーター）が設定される計画であることから、大会関係者や観客を除きセキュリティペリメーター内の立入りは禁止となる。そのため、一般利用者が鉄道駅へアクセスする際にセキュリティペリメーターを迂回する必要がある場合には、アクセス性は低下するものと考えられる。セキュリティペリメーターの設置に当たっては、関係機関のホームページや広報誌など様々な媒体を活用して事前周知を図る。また、セキュリティペリメーターの設置期間中は、迂回案内看板や必要に応じて交通誘導員等を配置し、迂回路の誘導を行い、公共交通機関までのアクセスを確保する。

また、大会開催中の競技会場周辺の鉄道駅は、多数の観客による混雑により、駅周辺のアクセス性は低下するものと考えられる。特に、競技会場が集中する都内においてはアクセス性が低下する駅があると考えられる。そのため、鉄道駅の混雑について事前周知を行うとともに、競技開催日には、競技会場周辺の鉄道駅周辺や交差点・横断歩道等に交通誘導員やシティキャスト（都市ボランティア）を配置し、観客のスムーズな誘導により、鉄道駅の一般利用者の日常生活への影響を極力低減する。

これらのことから、東京 2020 大会開催中の公共交通機関までのアクセス性への影響を極力低減する取組は図られているものと予測する。

(3) ミティゲーション

- ・セキュリティペリメーターの設置範囲や設置期間については、極力、競技会場周辺の交通アクセスが可能となるよう、関係機関と連携しながら検討する。
- ・セキュリティペリメーターの設置に当たっては、関係機関のホームページや広報誌など様々な媒体を活用し、事前周知を図る。
- ・セキュリティペリメーターの設置期間中は、迂回案内看板や必要に応じて交通誘導員等を配置し、迂回路の誘導を行う。
- ・競技開催日には、競技会場周辺の鉄道駅周辺や交差点・横断歩道等に交通誘導員やシティキャスト（都市ボランティア）を配置し、観客のスムーズな誘導により、鉄道駅の一般利用者への影響を極力低減する。
- ・大会開催中の鉄道駅の混雑について、大会輸送影響度マップ²を公表し、鉄道駅利用者への事前周知を行っている。
- ・東京都及び組織委員会は、大会開催中の列車の混雑や深夜時間帯における競技会場からの帰宅の需要に対応するため、東京圏の鉄道事業者各社局とともに深夜時間帯の列車運行について協議・調整を行い、現状の平日ダイヤと比べて遅い時刻まで運行を検討している路線を周知している。

(4) 評価

1) 評価の指標

評価の指標は、大会開催中の公共交通へのアクセシビリティへの配慮が事業者の実施可能な範囲で最大限行われることとした。

2) 評価の結果

競技会場周辺には進入禁止エリア（セキュリティペリメーター）が設定される計画であり、アクセス性は低下するものと考えられるが、関係機関のホームページや広報誌など様々な媒体を活用して事前周知を図るとともに、迂回案内看板や必要に応じて交通誘導員等を配置し、迂回路の誘導を行い、公共交通機関までのアクセスを確保する。

大会開催中の競技会場周辺の鉄道駅は、多数の観客による混雑により、特に競技会場が集中する都内においてはアクセス性が低下する駅があると考えられるが、鉄道駅の混雑予測について事前周知を行うとともに、競技開催日には、競技会場周辺の鉄道駅周辺や交差点・横断歩道等に交通誘導員やシティキャスト（都市ボランティア）を配置し、観客のスムーズな誘導により、鉄道駅の一般利用者への影響を極力低減する。

以上のように、競技会場周辺や鉄道駅での一般利用者への影響を最小化するように、東京都及び組織委員会が連携して取り組む計画となっていることから、大会開催中の公共交通へのアクセシビリティに対する配慮が事業者の実施可能な範囲で最大限行われるものとする。

² 大会輸送影響度マップ : <https://2020tdm.tokyo/map/>

(空白のページ)